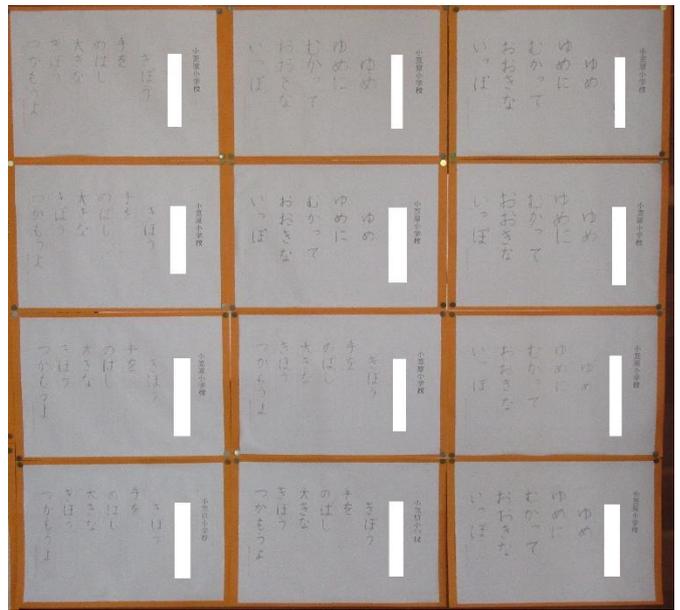
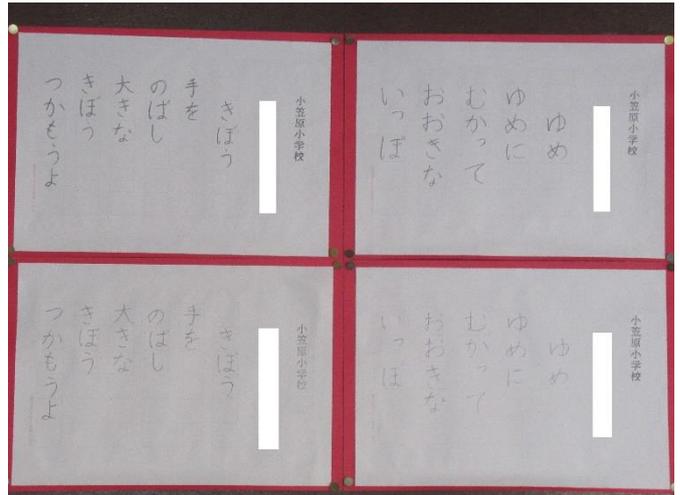


あかるく かしこく たくましく

令和7年2月25日 No. 44 文責：校長 佐野紳二

書き初め大会の入賞者の作品です。赤い台紙が県入選，黄色い台紙が支部入選のこの作品です。



配付した学校通信には入賞者全員の名前を掲載しましたが，ホームページへの公開は控えさせていただきます。

夢見るジャンプ

林直次郎

「いつになれば僕は大きくなれるのかな」
芽を出した種が言う
空の上にもまだ空があると思ってた

大きな世界の真ん中で一番になりたいくて
今も いつまでも

大きくなりたくて精一杯ジャンプする
あなたの姿とても輝いてる
どんなに辛くても どんなに苦しくても
がんばるあなたこそが一番さ

ある日僕は 僕と同じくらい小さな
枯れた木と出会った
細い枝を空に向かってのぼしてた

耳をすませば せせらぎが聞こえる
後ほんの少しでたどり着けそうだ

大きくなりたくて精一杯ジャンプする
あなたの姿とても輝いてる
どんなに辛くても どんなに苦しくても
がんばるあなたこそが一番さ

大きくなりたくて精一杯背伸びする
あなたの姿とても輝いてる
どんなに辛くても 小さな存在でも
がんばるあなたこそが一番さ

今まで、いろんな1年生に出会ってきました。どんな1年生に会っても、「今年の1年生の印象は？」と尋ねられると、「かわいい」とか「元気いっぱい」、「とっても素直な」なんていう言葉が出てきます。「じゃあ、今年の1年生の印象は？」と聞かれると、やっぱり真っ先に浮かぶのは「元気！」そして「人懐っこい」という言葉で表現できると思います。

1年生が入学して間もない頃、教室にお邪魔してみると、とてもたくさんの子どもたちから「ねえ、誰？」とか、「あっ、校長先生だ」とか「ねえ、見て見て」と、いっぱい声をかけられました。この声の多さは、これまでに会った1年生の中でも、今年の1年生が一番と言っているほどだと思います。少し学校生活に慣れ、私のことを「校長先生」と認識してくれるようになると、さらに多くの子が「あっ、校長先生が来た」「校長だ！」「ねえねえ、これ見て」等々、と声をかけてくれるようになりました。そしてそれは、間もなく3月になろうとしている今でも変わりません。

そんな1年生には、今年1年間でたくさんの元気をもらいました。校長室で仕事をしていて行き詰まったときには、一番近くの1年教室に行って、子どもたちに話しかけてもらいました。すると「よし、もうちょっと頑張るか！」と、いつも元気が湧いてきました。

かわいくて、元気いっぱいの1年生も、もうすぐ2年生です。そんな1年生に校長先生からプレゼントするのは、私が大好きな「夢みるジャンプ」という歌です。この曲は、2005年に歌手の平川地一丁目（林兄弟によるフォークデュオ）さんがリリースした6枚目のシングルで、同年の「みんなのうた」で放送された曲です。随分前の歌なので、あまり聴いたことがある方はいないかも知れ

ませんが、私は当時、この歌を「みんなのうた」で初めて聴いてすぐに好きになり、受け持っていた子どもたちに「誕生日おめでとう」の中でプレゼントさせてもらいました。小さな「カエル」が大きな世界に向かってジャンプする歌詞とアニメーションがとても素敵な曲です。現在でも、YouTuber で歌を聴くことができますので、まだ聴いたことがないという方は、ぜひ一度視聴してみてください。

4月から「上級生」という新しい世界にジャンプする1年生のみなさんに、平川地一丁目の温かい歌声とともに応援のメッセージをプレゼントします。



みんなのうた「夢見るジャンプ」より